〔大正九年十一月十四日 第三種郵便物認可〕
新京日日新聞 康德七年(昭和十五年)一月三日 (水曜日) 第六千一百一號 (一)

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙 一部五錢 一ヶ月一圓
定價 郵稅 一ヶ月十五錢
廣告料 普通 一行 一圓五十錢
特別 同 二圓五十錢
發行所 新京大經路西ノ一 新京日日新聞社 電話三・二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 和波常
印刷人 水越內之介

御召服は 井上洋服店 大經路三六 電(3)二五五九

元旦輝く拜賀式
宮中新年の御儀行はせらる

【東京國通】大和建國の御鴻業を景仰し奉る肇國式年の元旦、宮中に於かせられては午前五時半四方拜に始めさせられて輝やく新年の御儀を行はせられた畏くも天皇陛下には午前五時過ぎ早くも綾綺殿に渡御、黄櫨染御袍の御束帯を召され三條掌典長御先導申上げて神嘉殿南庭に下御庭燎遙りを照す中を進御、同五時半御屏風內の御拜座に着かせ給ひて神宮を始め神武天皇、大正天皇の山陵、四方の神祇を御遙拜皇室の彌榮、國運の隆昌を御祈念あらせられて四方拜の儀を終へさせられ同五時四十分より賢所皇靈殿神殿に御親拜嚴かなる歳旦祭の儀を行はせられた、それより午前八時、陛下には御軍装を召され鳳凰間に出御、新春芽出度き晴の御膳に着かせられたが、大奧にては皇后陛下淸宮様方と元旦を壽がせ給ひ午前十時ローブモンタントの御姿御麗はしき皇后陛下と御揃ひにて鳳凰間に出御、秩父宮同妃兩殿下を始め奉り各皇族方に御對面、肇國式年に榮ある新年の御祝詞を受けさせられたが、更に皇族方を隨へさせられて正殿に出御、二度に亙らせられて阿部首相以下文武百官等の拜賀を受けさせられた、かくて午後一時半からは米國大使グルー氏以下各國大公使同夫人に謁見仰付けられ元旦輝やく拜賀式を終へさせられた、尚二日は有資格者が參賀申上げ

前線將士偲ばせられ 野戰料理召さる
畏し兩陛下の思召し

【東京國通】興亞完遂一路邁進の新春建國欽仰に意義一入深き元旦を大本營に迎へさせられた天皇陛下には皇后陛下と御揃ひにて第一線將兵の勞苦を偲ばせられて將兵と共に新春を祝はせ給ふ畏き御思召により、元旦の御三食は各戰線の野戰料理を召させられると承りこの野戰料理は舊年中に糧秣本廠から各戰線に送り將兵が今日の佳辰を一入の感激に迎へて祝ふ戰線の野戰お正月料理と御同様で、めでたい品々の口取りの罐詰料理のほか左の獻立と承る、昨年元旦の御晩餐にも兩陛下には野戰食を召されて新春を壽がせられたのであつたが、今年も御同様にて然も元旦晴御膳の御儀を終へさせられたのちの兩陛下御揃ひの御祝膳は興亞奉公運動の精神に聖慮を給ひ、興亞奉公日第一日たる元旦は特に御取止めさせられ、朝、晝、晩と御三食に亙つて蒙疆、滿洲、北中支各戰線それぞれの料理を召させ給ひ將兵と共に祝はせられ、將兵を偲ばせ給ふは畏き極みである

【野戰お正月料理の獻立】△御朝食(蒙疆方面の將兵野戰正月料理)高粱の粥(餅入り小豆三割)羊肉(燒肉)、豆のもやし、ごまあへ、澤庵△御中食(滿洲方面の將兵野戰正月料理)支那饅頭、豚のシチュー煮、甘藷のジャム、福神漬△御夕食(北中支方面將兵野戰正月料理)大豆御飯、豚と豆の煮つけ、冷凍魚空揚げに五目ソース、梅干

大陸の旭光浴びて
第一線壯嚴な遙拜式

【開封一日發國通】最前線開封占領後第二回目新春が訪れた、敵の開封占領の逆宣傳と冬季攻勢を輕く一蹴して新春と共に精氣倍加した開封駐屯○○部隊では一日午前十時より嚴肅な遙拜式が擧行され、また常に日本軍と協力河南治安の肅淸に全力を盡してゐる綏靖委員會和平救國軍も○○基地に於て新春祝賀式を行ひ日支の武運長久を祈つた、一方わが各機關、小學校等でもそれぞれ午前十時より十一時までの間に遙拜式を擧行したが特に本年は紀元二千六百年に當る意義深い年であり新秩序體制への最も強靱な心構へを必要とする最前線の事とて各遙拜式は特に嚴肅且質素に行はれた

□　□

【徐州一日發國通】皇軍入城後二度目の新春特に紀元二千六百年の意義深い新春を迎へ在徐州の居留民一同はこの朝午前九時特務機關裏の廣場に集合、東方に向つて皇居の遙拜式を行ひ高らかに萬歳を齊唱して聖壽の無窮を壽ぎ奉り次いで十一時より偕行社に軍官民參集互禮會を催し事變下第四年を迎へるにあたり軍民一同時局に處する覺悟を新にした

□　□

【濟南一日發國通】皇紀二千六百年新春を迎へた濟南では午前八時卅分、先づ青年團百名が忠魂碑前に集合初の國旗掲揚式を擧行、逞しき躍進日本を象徴する大日章旗を新春の青空高く揚げれば、續いて同廣場における民團主催の市民奉祝式が開かれた、參列の數千の居留民は感激も新たに君ケ代を齊唱、皇室の彌榮えと帝國の發展を心から祈り萬歳を三唱、その際は元旦の青空をゆるがした、一方總領事館では午前十一時より御眞影拜賀式を擧行官民多數隨時拜賀を行ひ、正午からは同館を開いて公私の民團主催の新年互禮會が開催されたが、參列する各居留民二千餘、躍進濟南の姿をこゝにあらはし一同希望に輝やく皇紀二千六百年の新春を祝福した

□　□

【青島一日發國通】自肅緊張の裡に紀元二千六百年を迎へた青島市民は午前九時青島神社に二千六百年記念祝賀會、國旗掲揚式を擧行十時半より總領事官邸に御眞影拜賀式を擧行聖壽の萬歳を祈つた

三寒四温

金から物へ、物から人へといふのが、この數年來の世界の動きであるといつてよい▼たとへばわが滿洲でも建國早々から數年の間は、常に財政の問題が、政治の中心であつた▼金融の問題が經濟の中心であつた▼赤字を出さぬように、貨幣價値を安定させるようにといふことが、財政金融當局の最も苦心し、努力して來たところであつた▼「健全財政」といふことは、わが滿洲では、特に強調せられ、また或る方面で信頼せられたところだ▼だが建國五年目を迎へた康德三年になるといふと、もう單なる健全財政ではいけない、もつと積極的に、物の生産增加に力を入れねばならぬといふことになつた▼さうして、國策も「治安財政第一主義」といつた方針から、「産業第一、生産第一」といふことにうつりかはつて、それが具體的には、産業開發五ケ年計畫となつて、康德四年から着手せられたことは皆人の知る通りだ▼つまり「金から物へ」といふ移り變りの一つの重要なる姿である▼ところが、産業第一、生産第一と、各方面に五ケ年計畫を強行すること三年、だん／＼やつてみると、もつと根本的なことは、物よりも人だといふことがわかつてきた▼もつとも、これは一方では支那事變が起つたこと、それに伴ふ日本の生産力擴充四ケ年計畫によつて、物も、人も内地からの供給を十分にうけ得ないといふ事情が加はり、更にヨーロッパ戰爭が起つてドイツなどから機械その他を輸入することが困難になつたといふ外部的理由によつて、物についての計畫を根本的に變へねばならぬようになつたといふこともあるけれども、たとひかういふ外部の事情が變らなかつたとしても早晩、「物から人へ」の自覺は當然に起るべきすぢ合のものであつた、それは何も「財は末にして徳は本なり」といふような本質的な反省からでなくとも、だいたい「物を生産する」といふことが、いふ迄もなく「人の働き」であるから、かりに「物そのもの」をさしむきの目的としたところで、まづその物を造るべき技術、勞働、組織、經營といふもの、つまり人的準備をしてかゝらねばならんから、だ▼いはんや、單に「生産」の面だけでなく、消費の面をも考へなければならぬ、配給の方面も、價格の部門も工夫しなければならんといふ、いはゆる非常時になり、全面的統制の時代になつてくるといふと、何もかも、根本は人だといふことにならざるを得ぬ▼もつとつきつめて云へば「人から心へ」といふことになるのだ▼云ひかへれば、人の量から、質へといふことが重點になつて來るのだ▼同じ人間が、從來よりも、もつと工夫し、努力する、積極的にも、消極的にも考へて生きるといふようにならねばならんといふことになつた▼しかもそれは單に個人的な工夫や努力にとゞまらず、他人との協同、全體の組織としての工夫を必要とし、全體としての能率をあげるといふことが最も大切になつて來たのだ▼そこでわが滿洲國でも、いはゆる政策の意識的轉換が行はれ根本的な方策としては、教育にうんと力を入れるようになつたと共に、直接社會人、國民の總力をできるだけ發揮せしめようといふので、一般民生の安定向上に努めると共に、協和會運動にも一段と拍車をかけるといふことになつたのだ▼さうしてこれは滿洲だけのことではなくて、東では日本、西ではドイツ、最もその必要を感じかつ實際に努力しつゝあるところだ▼ところがこの問題は、結局は「意識」「心構へ」の問題であると共に、それを最も効果的にするものは組織と、指導といふものがよく出來てゐなければならぬのだ。

毅然、聳立つ神武天皇御英姿

吉野國立公園大台原六千尺の靈峰に毅然として聳え立つ神武天皇御銅像、一丈八尺の嚴たる御英姿が御東征の御道筋に大峰彌山の連峰及び熊野灘を睥睨されてゐる御手弓の金鵄は悠久二千六百年の歴史を物語るが如くいきいきとして羽搏いてゐる樣である

抗日勢力潰滅へ
依然總力戰遂行
西尾總司令官談話發表

支那派遣軍總司令官西尾壽造大將は聖戰下第三年目の新春を迎へるに當り左の如き年頭の辭を發表した

事變第四年に及ぶ曠古の聖戰下に皇紀二千六百年の新春を迎ふ、肇國の悠久大陸に洽き、皇威限りなき皇運の隆昌を仰いで寔に感激に堪へざる所である、外にあつて皇軍は御稜威の下勇戰奮鬪し內にあつては銃後國民は總親和の實を擧げ以て國家總力戰態勢を强化し興亞の聖業に向つて着々とその巨歩を進めつゝあるのは洵に御同慶の至りである、新春と共に更生新支那に我と共に興亞を目指す新中央政權の誕生近きは吾人の意を强うするに足るもので一方抗日陣營の動搖は之を掩ふべくもないが東亞の情勢は新中央政權の樹立によつて直ちに全面的の平和を現出する能はず蔣政權の倒壞、治安の確保、民心の安定には尙皇軍の奮鬪に俟つべきもの多く又微妙なる歐洲の情勢は世界動亂の端を孕み帝國の世界的地位、東亞安定の責任特に重大性を加へ今や實に國家の總力を擧げて國防の充實を圖り國家の危急存亡に備ふべきの秋である、軍は本來の使命に鑑み依然抗日勢力の徹底潰滅を圖ると共に無辜の民衆を綏撫し眞に皇軍たるの眞價を發揮せん事を期しある次第である、舊年銃後より寄せられた赤誠に對しては滿腔の感謝を捧げると共に光輝ある二千六百年の新春を迎へ千載一遇の光榮と責務とを感銘して以て眞に前線銃後一丸となつて聖戰の目的貫徹に邁進すべきことを誓つて止まない次第である

新段階に踏出す
阿部首相年頭の辭

紀元二千六百年の新春を迎へるに當り、謹んで、聖壽の萬歳と皇室の御繁榮を壽ぎ奉ると共に、此の意義ある年に際會するを得た我々國民は、皇國に生を享けた喜びに感激を新にし、光輝ある國史に顧みて、愈々肇國の大理想の顯現に努め以て、聖恩に應へ奉らん事を期する次第である、顧みれば、支那事變は早くも第四年を迎へる事となり、今や支那に於ては、日滿兩國と相携へて更生新支那を代表し興亞の大道を邁往すべき中央政府が、四億民衆の興望を擔つて誕生せんとして居る、之に伴つて事變は、まさに、東亞新秩序建設の理想を歩一歩實際に具現して行くべき最も重要な段階に到達したのであつて、此の新段階に一歩を踏み出す本年こそは、東亞の將來、延いては世界の大勢を決すべき誠に重大な年である事を痛感するのである

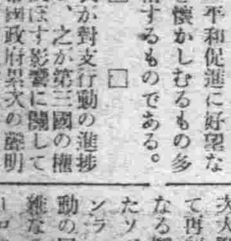
□　□

翻つて世界の情勢を見るに、歐洲戰爭の進展に伴ひ國際情勢は益々複雜を加へ列國々際政策の東亞に及ぼす影響も決して樂觀を許さぬものがある、しかも支那事變は建設部面の主要段階に入つたとは言へ、これを以て直ちにその終局を告ぐるものではなく、今後猶蠢動を續ける抗日勢力を倒して、新支那の治安を保障し、これが再建を援助する爲には、國民齊しく覺悟を新にし、一大勇猛心を振ひ起してこれが處理に邁進する事が何よりの急務であると信ずる、國民の生活も時局の重大性に從ひ更に一段の緊張が要求せられ、殊に經濟方面に於ては自然種々な抑制が加はらねばならないであらうか、全國民が深き時局認識の下に、擧國一體となつて國策遂行に力を協せ、銃後の固めに微動をも示さず事變完遂の原動力となつて行く事を切望して已まないのである

□　□

思ふに、東亞新秩序建設の大事業は、其の期する所が高遠であるだけに、固より至難の業である、併し乍ら、我々は之を完遂する偉大なる國力を有し、又既に不退轉の決意を以て起つたのである、不動の國策既に確立し、御稜威の下、外に皇軍將士の忠勇と、內に一億國民の一致協力とがあれば、如何なる障害も必ずや突破し得る事と確信する紀元二千六百年の佳き年に、更に興亞聖業の年としての一大光彩を添ふべく、全國民同心一體となり御奉公に勵みたいと思ふ次第である

外相年頭辭



皇紀二千六百年を迎へ、天壤無窮の我が皇室の御繁業を慶賀し奉ると共に悠久なる國運の前途を祝福すると共に我が民族史上、空前の大事業をアジア大陸に於て遂行しつゝある事變下、第四年の新春に際し新東亞建設の使命の重大なるを痛感し、その完全達成に對する牢固たる決意をあらたにするのである。

顧るに東亞復興を目指す新秩序建設の基礎工作は、顯著なる進展を遂げ、聖戰の成果は既に新政權の抗日勢力を產業、交通の樞要地域より掃蕩し、軍需品の主要補給路を有效に遮斷して抗戰力の持久を益す困難ならしめ、奥地遁竄の重慶政權の頽勢は極めて顯著なるものがあると共に、國共兩派の確執は愈よ甚しく、內部分裂の危機を現出してゐる。而して他方抗日の惡夢より覺醒した國民の間に、滂湃として擡頭せる和平救國の風潮は、北支中支の兩政府及び純正國民黨その他同憂具眼の士を糾合する擧國的新中央政權樹立の運動となつて具體化の歩を進めてゐる。斯く諸般の情勢は新東亞の平和促進に好望なる期待を懷かしむるもの多きを確信するものである。

□　□

尚ほ我が對支行動の進捗に伴ひ、之が第三國の權益に及ぼす影響に關しては、帝國政府累次の聲明に拘らず、依然として排他的意圖を危惧するものあり、事變處理上、遺憾少からざりしところ、今回南京下流及び珠江の開放を決したるは、此種の誤解を一掃し、新秩序建設に對する列國の協力を歡迎する我國の公明なる心事と協調的用意とを顯現するものとして第三國關係の調整に效果あるべきを疑はざるものである此秋に當りヨーロッパに於ける大戰の勃發は、第一次大戰終局後、二十年にして再び西歐の三大國を深刻なる闘爭の禍中に投じ、またソヴィエット聯邦とフィンランド間に於ける軍事行動の展開は、國際政局に複雜なる波紋を描き、今やヨーロッパの舊秩序が根本的變革の大轉換期に逢着せるを痛感せしむるものがある

□　□

我國は大戰の勃發に際し直に不介入の方針を決定し事變處理に專念邁進するの所信を表明した。されば大戰の推移が如何なる變局を招來しようとも、帝國は毅然たる態度を堅持し、東亞新秩序建設に對する凡ゆる障碍を排除して、我が聖戰の目的を貫徹するやう堅忍不拔の精神を昂揚しなければならない。

斯くて皇紀二千六百年と事變第四年とを併せ迎ふるに當り、東亞永遠の平和を確立する我が使命の歴史的重大意義を深く認識し、且つ一大變革期に立つ國際政局の歸趨に思ひを致し、事變窮極の目的を達成するまで斷じて不退轉の努力を止むるものでないことを全國民と共に、茲に堅く誓はんとするものである

明るい店で良い品を 家具の店 片岡洋行 東三條通 電③四七八一

代議士決議
贊否十七日までに發表

【東京國通】衆議院各派有志代議士會は卅日午後議長官舍に實行委員會を開き協議の結果、一月十七日までに各黨各派で廿六日の有志代議士會の決議に對する贊否の決定數を取纏めこれを發表すること、贊否の確定數が決定したときは實行委員が五議首を訪問、これを報告することに意見の一致をみた、なほ小山谷藏、赤松克麿兩氏は協議會開會最中中座して陸相官邸に畑陸相を訪問し有志代議士會の經過及び同會の眞意を說明した

南昌の遙拜式

【南昌一日發國通】占領後最初の新年を迎へた南昌では一日午前十時半を期し領事館警察を中心に在留邦人八百餘名參集東方遙拜を行ひ、又陣中の矢野、小金澤、森岡、門脇等南昌附近各部隊では午前九時一齊に東方遙拜式を擧行、撫河、錦江沿岸地區に敵を睥睨する渡邊、植田、落合、小川各前線部隊は午前九時砲聲を尻目に心からの祝杯をあげて祝賀の萬歳を高唱、兩河畔を壓した

本日朝刊四頁

賀正
(幾)
四日より 十日まで
初賣當日 開店午前10時半・閉店午後9時半
新春大賣出
皇紀二千六百年！祖國日本の隆昌を壽ぎ
初春目出度き新年大賣出し……お買初めは何卒幾久屋へ
初春高級呉服陳列會
新型 お子様洋服陳列會
新春御旅行用品々揃
お子様へのお年玉に 人形・トランプ・玩具 各種
奉天 幾久屋
電話代表 ③6111

過去八年の歷史昂揚 開發目的完遂に邁進

韓經濟部大臣年頭辭

茲に康德七年の新春を迎ふるに當り謹んで聖壽の萬歲を壽ぎ國運の隆昌を祝し奉ります

我が滿洲國は今や建國九年、友邦大日本帝國の不斷の御仗義と我官民上下一致建國の熱意高き撓まざる努力によつて幾多の困難を克服、政治經濟の改善發達、諸制度の整備、新文化の創造に凡ゆる點に文字通り超世紀的業績を示し茲に國礎愈よ固き康德七年新春を迎へ得たることは誠に欣快の情に耐へざるものがあります、この時に當り一度世界の大勢國際情勢に眼を注げば時局の重大性は愈よ加はりつゝあることを痛感するものがあります、昨秋ダンチッヒ廻廊問題に火を發した歐洲の動亂は漸く擴大され英の對獨包圍工作、獨ソ不可侵條約の締結、ポーランドの分割、ソ聯のバルチック諸國の制壓、伊太利の靜觀、米國の中立法改正等歐洲の情勢は實に複雜怪奇の限りを盡しつゝあるのであります

□　□

此間に在つて友邦大日本帝國が歐洲問題に介入せず只管興亞聖戰事變の處理に專念致されつゝあり近く一大强力なる新支那中央政權の誕生を見んとしつゝありますことは御同慶の至りであります、然し乍ら友邦日本が大東亞の車軸となつて新秩序建設の大業に從事、一方に尊き皇軍を動員して討濟の師を進めると共に莫大な國帑を費して精魂を盡されつゝあり他方に我が滿洲國の援助にも多大の犧牲を拂はれつゝあるのであります

事變四年の今日尚此の綽綽たる餘裕を持つ底力に驚く外ないのでありますがよく思を廻らせば日本帝國は東洋再建の聖業の爲めに必ずや國を擧げての決死的奮闘を爲されつゝあると見るべきが至當ではなからうかと考へるのであります、されば滿洲國としても一日として偸安を許さるべきでないのであります、我が國は此の日本の大理想達成の一助として國防の强化、國力の增强に力を致さなくてはならぬのであります

特に國家實力の增强を圖る爲に我國天與資源の開發こそ最も必要なのであつて之迄豫期以上の成績を得て居るのは勿論であるが、之より一層その必要性は加はつて來るのであります、而して此の開發計畫は民生の安定と併行して行はれなくてはならぬこと申す迄もないことであります

□　□

事變以來の諸重要國策の强行と客年歐洲戰爭の勃發は一層我國の政治經濟各方面に種々の影響を及ぼす處あるに至つたのは已むを得ぬ所でありまして、一部物資の不足を生じ物價の騰貴亦顯著なるものあるに至つたのであります、玆に於て政府は遂に之に處し經濟の全部門に亙り漸次强力なる統制を加へ又加へんとするに至つたのであります、斯る措置は需給の調整、價格の安定を期するに外ならぬものでありますが諸般の情勢は愈よ一層急角度に强度の統制體制に入るを必要とし之が爲め個別經濟の活動及び國民大衆の日常生活は或る程度の拘束を受くるの已むなきに至つたのであります、尙我國に於ける一部物資の不足は年來の大規模な重要産業の開發に伴ふ一つの隨伴現象であつて此の現象はやがて我國の擁する豐富なる資源開發を完成する曉に於ては見事なる果實を取得して止むのであります

又統制經濟體制は最近の國際情勢よりすれば、各國等しく國民經濟の遂行に付て不可缺の要諦であつて、之より生ずる一部に對する一時的不利不便拘束は一に國民經濟の全般的發達を期して大衆の全體的利益を求むるに外ならぬのでありますから此點に關しては朝野の各位、政府の意のある處を察せられ一時の不滿を忍從して戴きたいのであります

□　□

之と同時に官にあるもののみならず各特殊會社等も勿論さうでありますが直接統制部門の仕事に携はるものは、特に統制に依つて受くることあるべき國軍の苦痛を察し其の施策、立法及びその施行等に當つては愼重の上にも愼重を期し、且立場を置き代へ親切なる心を以て公平無私、事に臨むべきであります

如何なる地位にあるものも各々の立場に於て、國を思ふと共に濫き心をもつて民を思ひ、苟も獨善に陷るが如きことなきを心懸くべきでありませう 官にあるものは國を思ひ民を考へ、國民は國情をよく察し政府の施策に積極的協力の誠を致され、朝野互に思ひつ思はれつ、しつくり手を握り合ひ時艱の克服に當るべきであらうと存ずるものであります、天の與へた試煉を忍受今こそ東亞協同體の模範としての滿洲國完成に邁進致すべき絶好の機會であらうと存ずるのであります

□　□

不肖經濟部大臣として國家經濟行政部門を擔當するものとして康德七年元旦の佳節に當り益す其責任の重大を痛感致すものでありまして玆に些か所感を述べて國民各位と共に倍舊の熱意を以て一路邁進その努めを果したいと存じます國民各位に於かれても重大時局下の現狀をよく究められ政府の施策に付ても國の爲め忌憚なき直言と叱正を望むものであります、願くは國民各位愈よ奮勵一番、過去八年の歷史を昂揚し、康德七年に於ける際限なき國運の發展に寄與せられんことを深く期待致します

依爲市民　山海元祥

康德庚辰元旦　滿地春光　張景惠

曠古の春迎へた橿原神宮

滿洲帝國の外交

外務局長官　蔡運升

歐亂に起因する世界的焦燥の裡に康德六年は暮れ茲に新たなる年を迎へることゝなつた、此の時に當り我滿洲國が

國礎

愈よ固うして國勢益す興隆し盟邦日本帝國亦皇紀二千六百年の比類なき盛儀を迎へて國威日に揚りつゝあるを見るは誠に慶賀に堪へざる所である、新年に際し先づ何よりも肝要なることは國民が更めて其の國家的使命に思を致し、之に對する決意と信念とを新たにすることである、蓋し國家的使命に對する國民の鞏固なる信念と決意は國家の興隆上不可缺の要素であり、殊に複雜險惡を極むる現下の國際情勢に於て特に其の然るを覺えるからである、言ふ迄もなく我國家的使命は、日本と緊密不可分の關係に於て東亞の安定に邁進することである

此の國是の意義と眞價は今更喋々する迄もなく過去八年に於ける我內外の發展に依つて最も雄辯に立證された、支那事變の處理、東亞新秩序の建設は此の國是に基く日滿民族共同の

事業

であるが、萬難を排して之を遂行せざるべからざるは勿論、其の必ず成就すべきは其の本質に徵して毫も疑を容れざる所である、歐洲の動亂に關しては政府は夙に不介入の方針を中外に宣明したが、經濟通商等の方面に於て相當の影響を蒙ることあるべきは固より之を豫想しなければならない、國民は時局に對する的確なる認識の下に之に善處する用意が肝要である

六年度に於ける我外交は着着友好諸國との親善增進に努めた外、新たにハンガリー及スロヴアキヤの二國を承認國に加へ大體に於て極めて順調に經過した、然し支那事變を今年に繰越したばかりでなく、新進の國家として其の興隆上當然幾多の難關を覺悟しなければならぬと考へる、吾人は

年初

に當り更に氣宇を新たにして一意奉公の誠を致さんことを期すると共に、玆に國民諸君の一段の協力を切望して已まざる次第である

身に數彈屈せず 死の攻擊指揮

壯烈無比 小林部隊長散華

【包頭廿九日發國通】傅作義軍の大追擊戰に終始陣頭にたつて指揮しつゝあつた小林部隊長は前口子附近の激戰で身に數彈を受けながらもその

（責任感は）

部下のすゝめもきかず後退もせず部下の勇猛果敢な攻擊を見守り死につゐたものでこの部隊長の軍人精神發露は正に靑史を飾るに足る昭和の軍神である 即ち小林部隊は砂損（包頭西方廿四キロ）及び前口子方面にあつた蒙古軍が敵の攻擊を受け一度は擊退したが敵は約三千の援兵の到着を待つてこれを包圍、危機に瀕してゐるとの報に勇猛義俠そのものの小林部隊長はこれが救援と敵退路の遮斷を企圖し道なき鳥拉山の峻嶮十六里を徒步迂回廿一日午前八時前口子に前進勇敢にも部隊長は佐藤勇大尉（山梨縣出身）をして新編第六旅王子修に對し無條件武裝解除を要求これが實行中敵後續部隊が背後に現れ小林部隊に對し發砲したので小林部隊は直ちに猛反擊を加へ激烈な戰鬪を演ずる中不幸敵彈は部隊長の腹部と右肩を貫通したるも豪勇の部隊長は端坐のまゝ

（指揮する）

を見かけた佐藤大尉は「後退後退」と進言するも肯んぜず前面の敵を擊滅せんとし匍匐前進せんとするや又も飛び來つた敵彈は胸部を貫いた

流石に豪毅の部隊長もいまはこれまでと佐藤大尉を呼び部隊の指揮を託しよろめく身を支へつゝ東方に向ひかすかに「天皇陛下萬歲」を叫び午後一時卅分遂に壯烈極りなき戰死を遂げたのである

戰鬪は夜に入つてますます激烈を極めたるも全軍將兵は部隊長の弔合戰に奮ひたち必死の逆襲を試みる悲壯の決意の下に夜を徹した、明けて廿二日朝○○機は急を知つて部隊の上空に飛來、空中より彈藥を補給して去つた朝霧を透して見るとわが○○、阿蘇、加藤部隊の反擊に雪崩をうつて潰走する敵は四方に流れゆくではないか 彈丸の補充に勢ひを得た部隊は富るを幸ひ突きまくり遂にこれを潰滅せしめた、この激戰にもわが方は部隊長以下卅一名の戰死を出したのみである、この間部隊は水なく

（食料なく）

乾パン一度の食をもつて終始した皇軍精神力の偉大さは部隊長の死と共に長く後世に傳へられであらう

輝く二千六百年 光あらしめよ

大本營海軍報道部長　金澤正夫

旭光爛として皇威六合に洽く皇紀二千六百年の新春を迎ふるに當り、恭しく寶祚の天壤無窮と聖壽の萬歲を壽ぎ奉り、我が國運の彌榮を慶祝し得るは、聖代に生を享けたる我等一億萬臣民を擧げて歡喜感激に堪へない次第である。

今や支那事變は早くも茲に第四年を迎へ、皇軍の武威愈よ揚がり、皇恩洽く隣邦の民草にまで霑ひ、新支那統一政權成立の機運漸く熟して東亞新秩序建設の曙光を認むるに至つたことは邦家の爲め寔に慶賀に堪へない。

今茲にこの未曾有の事變下に光輝ある皇紀二千六百年の春を迎へた我等海軍軍人は、海國日本の過去現在及び未來に對して無限の感懷を禁じ得ないものがある。海國日本二千六百年の歷史は周知の通りであつて今更縷述するまでもないことであるが、先づ帝國海軍の淵源が遠く神武創業の史實の中に、昭々乎として存することは、二千六百年後の我等帝國海軍軍人にとつて、無限の感銘と不拔の信念を喚起させずには措かないのである。

□　□

即ち、神武天皇の御東征が主として海路に依つたことは勿論、更に大和山中の賊軍平定に際して、天皇が舟師を率ゐ給うて浪速より轉じて南海熊野に御上陸、鹼路賊軍の背後を衝いて大捷を博し給ひ、遂に大和建國の大業を成就し給うたことは、實に「天皇の舟師」即ち「天皇の海軍」が戰略的千古不朽の偉業を奏した嚆矢であつたと謂ふべきである。

而して神武天皇御即位の御宣言中に「八紘を掩うて宇となし、六合を兼ねて都を開かん亦可ならずや」と宣らせ給うた大御心は、近世に至り明治天皇が億兆安撫、國威宣布の御宸翰に、「萬里の波濤を開拓し國威を四方に宣布し天下を富岳の安きに置かんことを欲す云云」と仰せられた聖旨と同じく、建國の初めに方つて既に國家發展の大國是を御宣言になつたものと拜察し奉る次第である

爾來悠久二千六百年の國史を通じ我が水軍即ち海軍力の消長が常に我が國運の盛衰に直接の影響を及した事實は炳として千載に教訓を垂れて居る、即ち上古以來中世迄に於ける我國の大陸發展は、海上雄飛の國民的熱意の冷却と水軍の不振に依つて二度までも挫折の歷史を繰返してゐるのである。即ち神功皇后の新羅征伐以後四百餘年に亘る半島の制覇も、白村江附近に於ける海戰の結果可惜終焉を告げ、後年豐太閤の雄圖も亦我が水軍の不振に依つて九仭の功を一簣にかくに至つたのである、而してこの間海外發展どころか逆に大陸からの脅威を受け元寇の國難にさへ遭遇するに至つた事は海上權振はず海防全からざりし當然の結果に外ならぬ。更にこれが反動として一時倭寇の活躍並に邊民の海外發展を見るに至り日本民族の爲めに萬丈の氣を吐いたのであるが遺憾乍ら組織ある海上武力の支援と海洋發展に對する經綸を缺いた爲めに、遂に國家的海外發展の基礎とはなり得なかつたのである。

□　□

かくて明治維新以後帝國は更めて海外發展、大陸發展に乘出さなければならなかつた次第であるが、この間帝國は陸に備ふる陸軍軍備と併行し海軍は海の守を全うして數次の戰勝を獲得して逐一名譽ある傳統を築き上げると同時に、帝國の國際的地位は步一步向上の一路を辿り、帝國海軍の躍進と我が國運の發展とは互に因となり果となり、遂に今日あるに至つた次第である。そもそも大陸發展は我が建國の國是たる海外發展の一形式であつて、我が大日本帝國の勢力が大八洲を中心として海外に膨脹發展し、その一部が大陸方面に延び擴がることである。併し乍ら擴大する我勢力圈の中心は永遠に大八洲であり、この中心があつてこそ圓周があるのである 若し其の中心の存在を忘れ且つ中心と圓周との間に介在する海洋の存在を無視して圓周の擴大のみを企圖せんか、過去の史實に見るが如く我が大陸發展の挫折を繰返さんことを憂ふるものである。歷史は繰返すと謂はれてゐるが吾人にして眞に歷史に嚴肅なる價値を認むるならば、常に海國日本の本質を確認しつゝ行動し、再び過去の失敗を繰返す樣なことがあつては斷じてならないのである。

□　□

熟々思ふに支那事變は二千六百年の歷史を通じて眞に未曾有の大戰爭であり、更に事變處理の窮極の目標たる東亞新秩序の建設と言ふことに至つては、是亦有史以來比類なき一大事業であつて、實に二千六百年の久しきに亙つて我等の祖先が遂行し來つた、又遂行せんとして遂行する能はざりしを綜合的成果を成就せんことを期するものに外ならずして、從つてこの一大鴻業が短日月の間に尋常一樣の努力を以て完成され得べしとなすが如きは認識不足もまた甚しと謂はなければならぬ。

我等は誓つてこの大事業を繼承すべき次代國民の爲めにも揺ぎなき基礎を築き上げんことを期せねばならぬのである。而も支那事變は支那一國を對手とするものにあらず、事變を繞る國際關係は周知の通り複雜多難であり支那事變處理の及ぶ範圍は必然世界的であることは言ふまでもない。加ふるに今や歐洲に戰亂勃發し帝國は之に介入することなく、只管支那事變處理に邁進しつゝありと雖も戰禍の波及するところ盪に端睨すべからざるものがある。即ち帝國は支那事變處理といふ曠古未曾有の大事業の遂行に當りつゝ變轉極りなき現下の世界的危局に對處して行かなければならぬ立場にある。

而して今次の支那事變が我が國運將來の爲め是非共完遂せねばならぬ重大性ある以上、當面する內外の難局は一意一心斷々乎として克服せねばならぬ。即ち不退轉の勇猛心を振起し朝野眞に堅忍持久の實を擧げ、かくて光輝ある皇紀二千六百年をして將來に向つて愈よ光あらしめねばならぬと信ずるものである。と同時に二千六百年の嚴肅なる歷史の教訓に鑑み、吾人は海軍力の整備充實と海上權の積極的行使が、國運將來の發展の爲め常に我國民の念頭に置くことの必要性を主張するものである。

賀 皇紀二千六百年 正

吉林之部

吉林省公署
省長 閻傳紱
次長 植田貢太郎
民生廳長 耿熙旭
警務廳長 村井矢之助
開拓廳長 焦桐
土木廳長 邱任元
外職員一同

吉林市公署

永吉縣公署
縣長 黃式叙
副縣長 平岡修治

協和會吉林省本部

協和會永吉縣本部
本部長 王暢
事務長 高附榮次郎

協和會吉林市本部

第二軍管區司令官
陸軍上將 吉興

吉林警察廳
職員一同

吉林稅務監督署
署長 楊乃時
副署長 梅本長四郎

吉林鐵道局

吉林商工公會

滿洲拓植公社吉林事務所

金曜會（在吉林）
滿洲中央銀行　中國銀行
滿洲興業銀行　功成銀行
吉林銀行　天和銀行
吉林無盡會社　福德銀行
吉林都市金融合作社　吉林金融會
永吉縣金融合作社

滿洲電業株式會社吉林支店
支店長 鄭錦榮
支店長代理 永井良治

日滿商事株式會社吉林出張所
所長 富田徹郎

滿洲林業株式會社吉林支店
支店長 木下秀教
支店長代理 山田正夫

國際運輸株式會社吉林支店

大同洋灰株式會社

吉林滿洲國官吏消費組合

滿洲森林產業株式會社

吉林製材同業組合
無限製材株式會社吉林支店
吉林木材興業株式會社
株式會社大二商會吉林出張所
ハルピン木材株式會社吉林支店
吉林燐寸株式會社
合名會社松和製材所

日滿商事指定石炭販賣組合
泰山洋行
西安公司
南昌洋行
謙和祥
電話番 2280 3094 2254 2753

吉林產業株式會社
社長 李基衍
支店長 姜在衡

吉林省學校組合主事 寺田武吉
吉林高等女學校長 三上登
吉林青年學校長 秋友一夫
吉林陽明尋常高等小學校長 藤田仁知吉
吉林朝日尋常小學校長 門原眞澤

吉林營林署長 趙景武

滿鐵吉林醫院長 齊藤原治郎

吉林驛長 小袋半藏

岩間啓次郎

稻村峰一

吉林市旅館組合

輝く初日の出

宮崎縣美々津港の日の出口神武天皇御東征船出の地

いま酣のウインタースポーツ

この年も新記錄を 新春を飾る競技

あす遠征選手銓衡會

光輝ある二千六百年の新春を迎へた滿洲體育界も進展する國威と共に躍進の一途を辿り、スポーツと國民體位との關係は普く認識されつゝある、ウインタースポーツの王者スケートのシーズンは今や酣である、新春のトップを飾る四、五の兩日の日本遠征選手銓衡大會は奉天國際リンクに於て擧行される、本大會によつて日本選手權、神宮競技、滿鮮對抗の三大遠征に派遣されるデレゲーションが決定されるもので、文字通り全滿一流選手の爭覇だけに新春を飾るに相應しくファンの期待は大である、この大會に引續いて六、七兩日撫順に開かれる全滿第二部選手權大會は一部への登龍門でもあり、全滿のかくれたる優秀者の顏合せは各レースに熱戰を繰展げずには措かぬであらう、次に全滿スケート・デー、都市對抗、三都對抗を控へてゐるが、更にこの外數多くの遠征試合があり、十四日京城の滿鮮對抗、十六日より三日間青森縣に開かれる日本選手權大會、二月上旬の神宮大會と滿洲若人の海外で氣を吐くこの四大遠征こそ期待さるべきである、一方スキー競技も吉林北山に於て全滿都市對抗及び全滿選手權大會が開かれることになつてゐる、新春を飾る主なる日程は次の通り

スケート

一月四、五日＝日本遠征選手銓衡競技大會（奉天國際リンク）▲六、七日＝全滿第二部選手權大會（撫順）▲十三、十四日＝新京各個處對抗競技（新京兒玉公園）▲十四日＝滿鮮對抗競技（京城）全滿中等學校大會（奉天國際リンク）▲廿一日全滿スケート・デー、新京選手權大會（新京兒玉公園）▲廿七、廿八日＝第六回全滿選手權大會（新京兒玉公園）▼廿六、廿七、廿八日＝全日本選手權大會（青森縣八戸）、全奉天學童大會（奉天國際リンク）▲二月四日＝市民スケート大會（新京兒玉公園）、三都對抗（錦縣）▲三、四日＝明治神宮大會（日光）▲十一日＝第六回全滿都市對抗競技大會、滑走（奉天國際リンク）、氷滑球（哈爾濱）▲十七日＝全奉天夜間競技大會（奉天國際リンク）市民大會（哈爾濱）

スキー

一月四日＝全滿都市對抗（吉林北山）▲十一日＝全滿選手權大會（吉林北山）

派遣競技會日程

新春劈頭の「滿洲氷上界」を飾る派遣選手銓衡競技會は四、五兩日奉天國際滑氷場に於て擧行されるが氷上協會では日程を左の如く發表した

▲第一日（四日）入場式（午後零時半）女子五百米八組（午後一時）男子五百米八組（午後一時廿分）男子五千米十組（午後二時）

▲第二日（五日）女子千米八組（午前十時半）男子千五百米十組（午前十一時）女子千五百米五組（午後零時）男子一萬米六組（午後一時四十分）女子三千米繼走二組（午後四時）男子二千米繼走二組（午後四時十分）

▲氷球（滿鐵氷滑場）第一日（四日）午前十時開始、第二日（五日）決勝午後二時開始

對岸を横目に 國境に祝ふ雜煮

第一線も輝く新春

【綏芬河】午前七時起床ラッパが澄み切つた空氣の中に浸み込むやうに響き渡る、刷いたやうに雪に彩られてなだらかな起伏を見せて連る山々の頂上が薄紅色に染つて、雪の色が瑞々しく輝き出す、ソ聯領内の兵舍の屋根が鈍色に光つて見える、國境元旦の朝がなごやかに明けそめる、各兵舍ではいち早く起き出した兵士達が、元旦の服裝を整へるのに忙しい、磨かれた靴、折目正しい眞新しい軍服、馬舍では馬が高く嘶いてゐる、やがて整頓された部屋にはお雜煮が運び込まれて來る、午前八時各中隊でお雜煮を祝ふことになる、中隊長の簡素な年頭の挨拶があつた後、兵士達は新しい年を迎へる新しい心地でしみ〴〵と箸をとる、何か緊張したものが胸に一ぱいに滿ちて來る、みんな默々と箸を動かしてゐる、對岸山脈に點々と構築された不氣味なソ聯のトーチカを睨みながら儼たる監視を毎日續ける兵士達の勇氣の源泉となるのは、かうした大きな團欒であり、銃後の人達のことが強く感じられるのもかうした時である、雜煮が終ると元旦とは雖各自の任務は果さなければならない、國境最前線の監視哨となる兵士達が元氣よく出掛けて行く、次第に昇つて來た太陽の光線が山肌に反射して輝きを增して來る、午前十時から全員

營庭に

整列して部隊長を迎へ式が行はれる、嚴肅な部隊長の顏「皇居遙拜」と大喝の聲が響き渡る、心からなる皇居遙拜、ついで故鄉遙拜、兵士達の胸には故鄉の人達の顏として驛を埋めて見送つて貰つた旗の波が鮮かな印象となつて蘇つて來る「さうだ」思はず拳を握りしめる「銃後國民の熱誠にたいし感謝の意を表する」再び大喝の聲が響く、最敬禮、さらにはつきりと銃後の人達のことを胸に叩き込まれる譯である、最後に部隊長の訓辭、訓辭、部隊長が靜かに號令台に步みを運んで來る、營舍の軒に下つてゐるつらゝが光線を受けてきら〳〵と美しく光つてゐる

「國境第一線に於てこのよき元旦を迎へたことを喜び度い」

ひき締つた部隊長の口から迸る聲が小さな反響を波のやうに繰り返しながら擴がつて行く

「國境に於ける吾等の任務は新しい年を迎へてさらに重大である、殊にソ聯の行動、歐洲情勢、複雜な行動豫斷を許さないものがある、みなは自己の任務を果すために最善の努力を致さなければならない」

簡單明瞭、新しい年への

出發の

方向をはつきりと與へられたのである

「天皇陛下萬歳」を國境の山々にとゞろけとばかり三度絶叫する

さあこれからは自由行動である、外出の用意をするもの、部屋で故鄉への便りを書くもの、酒保へ出掛けるもの、營舍は一しきり賑はしい空氣に滿たされる、そのうち時計は間もなく正午を指す、御馳走がつぎ〳〵と運ばれて來る、おかしら附である、キントンがある、數の子がある、煮しめ、黑豆、牛蒡等と日本の元旦と少しもかはらない、綺麗に磨かれたコップには酒がつがれる、心からなる乾杯、兵士達は各々故鄉の有樣をそれ等の御馳走に味ふのである、みんなの顏がニコ〳〵と嬉しさに輝いてゐる、午後一ぱいは兵士達にとつて全く自由な御正月氣分である、廊下に賑やかな足音の交錯する中で、賑い聲で歌ふもの、御菓子かなにか買ひ込んで來るもの、談笑の爆發が煙を攪き亂して部屋に渦をつくつて立ちこめる、午後五時三十分の夕食が終ると餘興會がはじまる、御國自慢の藝人達が急拵への舞台で得意の藝を見せる、見物席から彌次が飛ぶ、拍手が湧き起る、元旦はかくしてふけてゆく

八時半が來ると各班ではそれ〴〵

點呼が

行はれる、異狀なし、九時消燈、兵士達は消燈ラッパを聞きながら、各自のベットに新年最初の夢を結ぶ、明日から默々として國境第一線の護りにつく鋭氣を養ふために…

梅津司令官初放送

梅津關東軍司令官は元旦午前九時三十分より年頭所感を初放送、軍司令部より中繼で日滿支各地へ電波に乘つて司令官の力强い聲は響きわたつた

一月 (六)

▲祝祭日＝一日四方拜、元旦（滿洲國）三日元始祭、五日新年宴會

▲節、行事＝四日御用始、六日小寒、十八日土用、廿一日大寒

▲臘八＝舊十二月八日＝陽曆十六日にあたるがこの日は白米、糯米、糯粟などの材料に粟、豆、棗、瓜子、落花生、乾葡萄、蓮の實などを混ぜ砂糖で味をつけほとんど水氣がなくなるくらゐに煮上げた「臘八粥」といふものを作つて神に供へ、また自分達も食べ富家では澤山作つて貧民に施したりする、かうすると一年中寒さを防ぐことが出來るばかりでなく、災難を免れ惡疫に罹らないといふのである、それはこの日が觀音樣の出家した日で、この粥は觀音樣が手づから作られて緣者達に馳走したものだといふ說がある、なほこの日は結婚の吉日とされてゐる―滿洲民謠＝師走八日はよい日でござる、あちらこちらでお嫁入り、ロシヤ泣いても心ちや笑ひ、花のお轎にゆられて行くよ

▲竈祭＝舊十二月二十三日（新三十一日）にあたるが「小過年」といひ正月の先行儀式で竈の神はこの晩昇天してその家の一年間の善事惡事を天に報告し天帝はそれによつて明年の一家の運命を定めるといふ信仰からその祭をするわけである、祭は夕方から行はれ祭壇には竈神の像を祀りいろいろな供物をあげる、十二時頃を昇天の時刻として盛に爆竹を鳴らし神像を燒く

◇一月の回顧

▲一日明治三十八年旅順陷落▲三日昭和七年皇軍錦州に入城す▲五日明治三十八年乃木ステッセル兩將軍水師營に會見す▲七日昭和四年滿鐵發明の酒精及ベンジン油脂抽出法特許をうく▲八日昭和六年鄭家屯稅捐局滿鐵線行の貨物に重稅を課す▲九日大正八年東支鐵道とシベリヤ鐵道を聯合國側で監督開始す▲十二日明治三十八年ミシチエンコ中將のコザツク將兵團營口を逆襲す▲十三日明治三十八年皇軍將士步武堂々旅順入城式及閲兵式を擧行す▲十五日明治三十九年米國鐵道王ハリマンとの滿鐵線買渡契約本日附破棄す▲二十日昭和九年鄭國務總理より滿洲國帝政實施及皇帝推戴の聲明を發す▲二十一日明治四十三年我が政府ノックスの滿洲鐵道列國共同經營提議を拒絕す▲二十二日昭和十年日本の斡旋により北鐵を滿洲國に買收の件決定す▲二十四日大正二年大連開港以來初めて氷結す▲二十六日明治三十八年渾河左岸黑溝臺附近に於て日露兩軍大激戰を展開す

弘報關係の一員として (下)

關東軍報道班長 長谷川少佐

元來近代戰が國家總力戰であると謂つた場合、第一次歐洲戰末期においては、武力戰を主流として他の思想、政略、經濟の諸分野が前後互に相併行しつゝ一戰爭形態を作つて行くと考へられたが、實際に於てはこの四者が一體に融け込んで戰爭を形作つてゐるのであつて、例へば一武力的戰鬪の勝利が武力戰としての本來の目的を達しつゝ、實はその儘思想戰に於ける威信ある宣傳であり、經濟戰に於ける有形無形の一準備工作であり、或は政略戰の一翼となつてゐる、斯ういふ關係はどの分野に於ても同樣であつて一宣傳、一外交的折衝、一通商取引が、本來の分野に於て任務を達することによつて、その儘他の分野の一任務を擔當したことになる

故に近頃、國民は思想戰の戰士であり、又產業の戰士として誰もが國家總力戰に携つてゐるのだといはれるが、之は正にその通りであるけれども、その分野に於て戰爭に携つてゐるといふだけで國家總力戰の戰士といふとすれば未だ考へが足りないと思ふ、產業人は經濟戰の戰士であるばかりでなく、その產業戰を戰ひ拔くことに依つてその儘思想戰の一役を買ひ、その儘外交戰の任務を果し又その儘で武力戰に參加したことになるものである。

話は元の局部的な一つの仕事と宣傳との關係に歸する、宣傳と仕事との關係は正に國家總力戰内における各分野のそれと全く同一であつて、宣傳は仕事の準備工作となり、その實施のよき環境を作るといふ側面的工作の役目を勤めることは勿論であるが、反對に仕事の實行が強力な宣傳の役割を分擔し、かくて兩者が因となり果となり進展して行く、之が兩者關係の實相である、こんな事は誰でも知つてゐる、そして氣がついてゐると否とに拘らず、實際上小さな仕事では誰もが實行してゐることである。

□　□

所が總てが組織化され、分業化して來ると、この當然のことが行はれ難くなる、宣傳と仕事とが形の上において二元化して來るばかりでなく、機能においても二元化して來る、茲に宣傳の圖太さとか一貫性とかゞ失はれる危險がある、從つて又準備工作の方法並にその着手の時機を看破するなどといふことが益す困難になつて來る、即ち最初から直接仕事の實施でぶッつかつて行くべきか、所謂宣傳機關を先づ發動せしむべきか、二者併行して行くべきか、之等は太い線を以て描かれた一途の方針に依つて決定されなければならない。

併しその中の宣傳の實施については相當注意を要する、即ち外に現はれる形式で行くべきか、沈默の形式で行くべきか、或は又知らぬ顏をして言論を鬪はしめて氣運を釀成せしめて行くべきか、これ等は餅は餅屋で宣傳機關の方が上手な筈であるから、如何なる手で行くかについては、明確なる方針をさへ指示すれば後は寧ろ機關側の企畫に一任すべきものであらう

然るに往々にして宣傳といへばたゞ發表をすることであるかの如く誤解して唯ひた隱しに隱して却つて不安をばら撒いたり或はまた當初にその大方針を明示しないために極めて微妙なる準備工作の發動の好機ならびにその手段の選擇を誤ることがあるのである、斯る失策は内外にその前例が少くない

□　□

しかしかゝる風潮を馴致したことについては、勿論宣傳機關の訓練が足りずしてその運營を誤り、ために宣傳機關に對する信用が薄らいだといふ點もあつたのであらうが、之は前述の樣な融合感並びに一體觀を以て互に建設的に助長し合つてこそ能率があがり、又仕事の目的も達する、折角の宣傳機關をしてたゞ單なるスピーカーに終らしめてはならぬ、殊に人的資源が不足せる今日に於て而も益す多事ならんとする新興滿洲國においては極めて不利なる事であらう、これなども一貫せる方針の確立及びその方針の大道内における各機關の自由潤達なる活動の許容、許容と謂はんよりはもつと積極的な奬勵があつて始めて可能なのである。

□　□

今や聖戰支那事變は既に第四年に入り、新しき政權もこの新春にその第一步を踏み出さんとしてゐる、この秋における日滿支互助連環の一環たる滿洲の國防的、政治的、經濟的乃至文化的使命は實に樞要なるものがあると信ずる、この重要なる地位を占むる滿洲を名實共に立派な國家とし、前途に行きて窮らざる光明を國民に與へることは誠に喫緊の要事である、これがためにも先づ切要なるは日滿支特に日滿兩國の相互に肚の底からする理解である

しかしてこの好機はこの二千六百年といふ意義深き歳を措いて他に求めることが出來ないと信ずる

「日滿は御互に融合し得る、融合せねば已まぬ」といふ信念と熱意、これこそ興亞の大業を滔々と說く前に、我々日滿人、特に宣傳に携つてゐる者の先づ持たねばならぬ覺悟ではあるまいか

勿論高き理想、大きな抱負、これを捨てゝはならぬ、併しあの世界に比べようもない宏遠な建國の大理想が具體的には二千六百年の今日に於てはじめて稍顯現しつゝあるを覺ゆるとき、兎角大言壯語の弊に陷り易き我々宣傳關係者は一方において地道に足許から一步一步を運んで行く堅實性が絶對に必要なるを痛感するのである。

今、元旦の旭日を仰いで鮮々乎たる日滿兩國の前途を思ひ、而してこれが先陣の役を承る我等の重責を顧みて所感の一端を述べた次第である

金泰で萬引

三十日午後四時ごろ吉野町金泰洋品部前で店員の隙を狙ひ革手袋（十八圓）を竊取した兩名の滿人少年を店員が引捕へて中央通署に突き出した、取調べの結果二十九日牡丹江から來京した日之出町二の一天泰棧寄宿社鳴九（一七）王保林（一五）で身につけてゐる總べての物が牡丹江出發の際市内各所の洋品店から萬引して來たことが判明、目下餘罪取調べ中

太平街火事

一日午前九時三十分頃寬城子署管内范家屯太平街一號李錢德さん方から發火、馳けつけた消防署員の手によつて同十時二十五分頃同家を半燒鎭火した、原因は溫突の火からとみられてゐる

七分搗

張之洞將軍の軍醫神保國手の御曹子として武漢で育つた神保和幸畫伯は家業こそ繼がなかつたが、全身これ愛國心の塊といつた型破りの畫家である▼滿洲開拓の父東宮大佐の偉業に感激、故大佐の聖業を永遠に記念しようと繪筆を握つて渡滿してから一年有餘、その間現地を跋涉構想を練りいよ〳〵最後の仕上げを國都でなすことゝなり、目下齋戒沐浴全精魂を打ち込んで問號の大作に熱中してゐる▼『顏だけで一尺五寸ありますよ、一寸稀らしい大作です、これが佳木斯の東宮會館に飾られると思ふと僕はこれで死んでも滿足です』と往年張之洞將軍を扶けて長江一帶の民衆から神の如く崇められた父神保國手の片鱗をちよつぴり匂はしてゐる

天氣と氣溫

けふの天氣　西の風晴

きのふの氣溫　最高零下二二度二　最低零下二七度三（午後二時まで）

寫眞は 永樂町三丁目 大和寫眞館へ TEL③5153

賀正
お買初めは幾久屋へ
皇紀二千六百年
初春の御買初は
今年もどうぞ大連幾久屋で！
◇三日ヨリ營業致します◇

新春笑ひのリズム
漫才大會
滿日讀者割引券發行
六日 七日（二日間）
入場料 一圓二十錢を五十錢に割引
於 西廣場社員倶樂部
後援 滿洲日日新聞社

廣告の御用命は電話3 三三〇〇番へ

紀元二千六百年奉祝會・日本放送協會制定
紀元二千六百年
文部省檢定濟
篠原正雄編曲
永田絃次郎
長門美保
キング管絃樂團
紀元二千六百年の歌なら、キングの標準盤をゼヒお求め下さい！
特別提供 奉祝記念價 一・六五
KING
キングレコード

酒の源藏の大奉仕！
時代に即應して店内を改造し皆樣の御氣に召す樣な安いそして感じの良い安心して腹一杯たべられる店
壽司部　にぎり壽司おこのみ何でも十錢均一
フライ部　新しくおこのみのフライを初めました
新京・銀座新道
酒の源藏

ネ
エ君！まつたくの話が醉つていふわけじやないョ、こんなこたア言ひたかねえんだけど、あつしがこのポーツとい、氣持になつて居るのはネ、灘の生一本白鶴と、うまい滋養のある菜めしを食つてゐりやア天下泰平とでも言はふカイ、ネエ君
酒じや興業號の白鶴サ
菜めしおでんじやばか盛サ
菜めし おでん
新京銀座新道（消防署橫東入）
ばか盛
灘の生一本白鶴

會葬御禮　藤原弘

淺春胡同【三】

工　清定
白崎海紀(繪)

黑眼鏡(八)

「もし、すみませんが、マッチお持ちでしたら、一寸お貸し願へませんか。」

その男は何のこだはりもなく、黑田に向つて帽子のへりに手をかけた。

(飛んでもない人ちがひだ！百さんと似ても似つかぬ髭面だ！)ゆくりなく硝子の破片を踏んだタイヤのやうに、黑田の心は見る見る萎んでしまつた。

「は、マッチですか、何卒……。」

さう言ひながらも、黑田は犬みたいに嗅覺を働かせて、その男から大蒜の香を嗅ぎ出さうとしたが、無駄だつた。

(俺は錯覺を起したのか。いやあの煙草屋にはいつたのは、たしかに百さんに違ひないぞ。うつかり出るのを見逃したんだ。おルミの奴に話しかけられたあの隙にちがひない。)

またしても失敗した黑田は、もはや三笠町へたづねて行く氣力もなかつた。—もちろん、三不管の例の家は、大經路で三人の滿人を見失つた戻りに、見に寄つたが、空家同然で溫突の煙出しが、呼吸してゐなかつたからでもあるけれど。

「ほつ、ほつ、ほ。」

そこへ道の向側から笑ひこけながら、走り寄つて來た女がある。ルミだつた。黑田はふりむきもしないで邪慳に驛の方へ歩き出した

「黑田さん、呆れた散歩をするのねえ、この寒空に見知らぬ人へマッチを貸さうと、いままで歩きまはつてゐたの、ほ、ほ、ほ。」

まさにその通りである。黑田は頑强に返事もせずにゐた。

「さつきの話が殘つてるぢやないの。話のつゞきが……。」

ルミの靨が風にもつれて、黑田に迫つた。

「あんた、千ちやんを他人に奪られても、いいんならそれでいいけれど……。」

息はせぶりなルミの言葉は、彼の步調を緩めさせた

「誰だい？そりや、まさか百さんぢやなからうな。」

「まさか、百さんなんか。あのぢいさん、ひよつとしたら滿人ぢやないかと思ふの、あたし。」

ルミの言葉は完全に黑田の心をつかんだ。

「ふうむ、お前もさう思つてるか！」

彼の言葉には、今までにない力がこもつてゐた。

「だつて百さんたら、フオークやナイフの持ち方なんて、てんでなつてないし、おくびがとても大蒜臭いんだもの、千ちやんをねらつてゐるのは、もちろん、百さんぢやなくつてよ。」

ルミは言葉を切つて、ぢらした。

「それなら誰だい？」

「言つて上げませうか。むきなその顏……。ムラサキさんよ。初會からあの人あれでゐて、とてもすごいのよ。」

「馬鹿！そんなことがあるものか。あの村崎に限つてそんなことが……。」

「所が案外さにあらずよ。でも黑田さんの方が先客ですものね。あたし、あなたと協定を結んで、味方をしてあげるわ。どう。その代りその代り……あの村崎さんに……言つて頂戴……。」

こゝでまた一寸口を噤んだルミは、よろめきながら氣のぬけたやうにあとを續けた。

「あの呑氣上等兵、ひよつくり歸つて來ましたつて……。」

横を向いて大きい溜息をついたのが、二三間を置いてゐた彼にも、はつきり聞き取れた。

興安病院
代表電話(2)五九一一番
新設　産婦人科　外科
院長　折島整

暖流 後篇
新春第二週　四日より七日まで
戀の凱歌はいづれに？
佐分利信　高峰三枝子　水戸光子　主演
銀か？　啓子か？

東好太郎 主演
嵐徳三郎外オール・スタア
芝居船

長春座

侠艶録
新興現代劇スター總出演
山路ふみ子主演
滿員御禮
お伊勢詣り
爆笑哄笑新興演藝陣總動員!!
ミスワカナ玉松一郎ラツキーセヴン伴淳三郎松葉家奴
舞台劇に小說に百萬の女性の紅淚を絞つた名畫!!

五日まで　料金六〇セン
朝日座

新春四日封切
長脇差團十郎

原作 川口松太郎　脚色 八尋不二　演出 牛原虛彥　振付 藤間勘治郎　撮影 高橋武則
劇中劇　熊谷陣屋　娘道成寺
市川右太衛門　河原崎權十郎　眞山くみ子　主演
芝田新　葛木香一　梅村蓉子　森光子　助演
千五百石の家もすて、意氣な牡丹の刺青に役者はすれどやくざ者、今賣出しの三河團十郎が七代目團十郎初の浪花下り知立の里に繰りひろげた戀と意氣地と藝道の絢爛繪卷!!!
壹圓均一
快男兒
文壇の俊鋭濱本浩の痛快小說の映化で正しき世渡りの爲に鬪ふ快男兒の壯烈な物語
原作・濱本浩　脚色・村上徳三郎　演出・久松靜兒　撮影・鈴木榮
河津清三郎　黑田記代　高野由美・生方壯兒　菅井一郎・大川修一

銀座キネマ

映畫は日活

杉狂兒・服部富子　日暮里子・櫻井健二　美ち奴・生島清美　ディック、ミネ・中村松子
堂々四日同時封切
お正月の御挨拶と共に噂に出る日活の絢爛豪華な第二週陣！
日活テイチク 大合同音樂映畫！
失業樂士と喫茶ガールの純情な愛と感激の物語を歌と音樂で描いた皆んながーしよに歌ひたくなる愉快な映畫！
監督 島耕二
街の唱歌隊
新京キネマ　豐樂劇場
阪東妻三郎 主演
澤村國太郎・市川春代　川上朱實・原健作
日活京都總動員の傑作
前篇以上の興趣滿點
連日滿員の前篇に引續き矢繼ぎ早やに贈る解決篇！戀と劍が妖しくもつれ淚を呼ぶ外交秘史！約定書は果して誰の手に！
鳴門浪人 後篇

讀賣新聞連載小說獨占映畫化
監督 荒井良平

第二週もこんな素晴らしい番組です
ロッパの新婚旅行

原作・演出 山本嘉次郎
古川綠波 二役主演
柳家金語樓　渡邊はま子 特別出演
三益愛子　清川虹子 共演
家庭精神總動員！行け見よ「ロッパの新婚旅行」
四日より七日まで
入場料 壹圓　普通招待券お斷り申します
初春は先づ無條件で笑ひませう
笑ひ轉げて切なくて耐らない一時間半
演出 中川信夫
エノケンの彌次喜多
榎本健一　二村定一　若原春江　柳田貞一　宏川光子
帝都キネマ